

元気な海士

パワー溢れる海士人の
活動・活躍をご紹介します！

真鶴町と包括的広域連携へ 協定締結

海士町はこのたび、神奈川県真鶴町と包括的広域連携に関する協定を締結し、7月10日(月)、山内道雄町長が同町を訪問して調印式を執り行いました。

真鶴町とはこれまで、議会・行政幹部の視察をはじめ、海士町東京サテライトオフィスでの職員研修などの交流を重ねています。



真鶴町における地方創生施策でも、岩牡蠣の試験養殖、内外インバウンド招聘など、数々の事業に海士町的人的・物的ネットワークで協力をを行っています。更に今年度からは、海士町の起業事例に倣った産業再生のための地域商社の立ち上げや、隠岐国学習センターのICT教育を参考にした教育魅力化など、海士町の挑戦から生まれたノウハウが真鶴町でも展開されています。

これまで海士町が培ってきた様々な政策展開を真鶴町へ「輸出」し、官民挙げた交流と、両町の地方創生のため、協力を行って参ります。

(海士町東京サテライトオフィス
参与 森協理好)

〈両町における広域連携の例〉

- 自治体間連携による販路開拓、人材開拓等
- 民間事業者による交流連携事業
- 移住推進策指導・交流
- 官民協働により設立する地域商社の育成・支援に係る指導・交流
- ICT教育、グローバル人材育成等、教育の魅力化に係る指導・交流

Glocal Olympic 2017

海士町でも『甲子園』！

高校生、まちづくりを熱く考える夏

7月15日(土)から3日間に渡り、隠岐国学習センターを拠点に「まちづくり甲子園」(主催)島根県立隠岐島前高等学校が開催されました。全国9府県10校(※)から、まちづくりに関心が高い高校生24名が集まり、島前3島でのフィールドワークを通して、地域の課題を解決する企画立案に挑戦しました。

今年のテーマは、漁業と観光業。参加者は4チームに分かれ、島前地域で実際に漁業や観光に携わる人たちにインタビューしたり、チームメンバーと議論を重ねたり

して、自分たちだけのオリジナルの課題解決策を練り上げました。

独創的な発想のプランが出そろった中、最優秀賞に輝いたのは、見落とされがちな『一人旅』というニーズに注目した観光策を発表したチーム「SMILE(スマイル)」。発表会に参加した地元の観光関係者からは、「視点が斬新で、目からウロコが落ちた」「僕たちにはできない発想だ」等の感想も聞かれました。

高校生も大人も、課題への「挑戦者」という点では同じ。互いに学び合う、貴重な機会となりました。



(※) 愛媛県立宇和島南中等教育学校

岡山県立矢掛高等学校

京都市立西京高等学校

高知県立嶺北高等学校

鳥取県立鳥取中央育英高等学校

広島県立広島商業高等学校

三重県立南伊勢高等学校南勢校舎

宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校

洛星高等学校

島根県立隠岐島前高等学校